2003（平成15年）12月発行

中城村　見つめよう　わたしたち　みんなのぎかい

議会だより

題字：與那覇 朝徳 議員

中城中学校女子空手部　全国制覇

目　次

■ ６月一般質問	3
■ 平成14年度決算	9
■ ９月定例一般質問	10
■ 意見書採択	15

第８号
平成15年
6月・9月議会

〒901-2493 沖縄県中城村字当間176番地　TEL895－4318　FAX895－4358　　発行／中城村議会　編集／編集特別委員会　印刷／沖印社

議会だより特集
中城村公共下水道事業

１．事業計画目標年次……平成27年度

２．予定総額予算……108億3,600万円

事業使途：汚水排除施設・雨水排除施設・事務費・南部流域負担金等

３．事業初年度……平成8年度着工

４．平成14年度までの累計事業費…23億5,480万円

補助率：国60%・県０%

５．供用可能地域（伊集・和宇慶・北浜・南浜）における接続世帯数及び接続率

使用可能世帯数：751世帯→29世帯→接続率3.86%（平成15年3月末現在）

６．隣町村の接続率

西原町：20%・与那原町：13%・北中城村：28%

７．村民の関心度

本村は、農村地帯で住宅がとびとびに張付いている為か、都市地区に比べ悪臭等環境衛生に対して関心度が低い状況である。

８．課　題

公共下水道は平成27年度を目標に進められていますが、整備をしても住民が接続をしなければ無意味であり、村民の意識の高揚が求められる。今後とも家庭訪問や広報紙等の利用及び接続費貸付制度、環境衛生の啓蒙を図り普及促進を図る必要がある。特に地域の公職者への接続促進を積極的に働きかけることが重要である。

平成15年第3回　6月定例議会

可決

議案第35号平成15年度一般会計補正予算（第1号）
予算総額48億6,700万７千円　歳入歳出それぞれ5,333万７千円増

可決

議案36号平成15年度中城村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
予算総額14億7,693万2千円　歳入歳出それぞれ57万１千円増

平成15年度第3回中城村議会6月定例会提出案一覧表

平成15年6月13日

議案番号	事　件　名	
議案第35号	平成15年度中城村一般会計補正予算（第1号）	可　決
議案第36号	平成15年度中城村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第37号	中城村情報公開条例の施行期日を定める条例	〃
議案第38号	中城村手数料徴収条例の一部を改正する条例	〃
議案第39号	中城村監査委員条例の一部を改正する条例	〃
議案第40号	中城村道路線の変更認定	〃
承認第1号～5号	専決処分の承認を求める	承　認
報告第2号	平成14年度中城村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	〃
報告第3号	平成14年度中城村土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算の報告	〃
陳情第5号	介護保険の改善を求める意見書	採　決
陳情第7号	義務教育費国庫負担制度の堅持等に関する意見書	〃
陳情第8号	「三位一体の改革」の早期実現に関する意見書	〃
陳情第9号	身近な犯罪抑止対策に伴う「5つのかける」運動励行の決議	決　議

採択

陳情第6号　消費税の大増税に反対し、くらし・営業を守ることを求める意見書

国民・県民のくらしを犠牲にし、国の財政が厳しいからと消費税を引き上げる政策は許せません。低迷している日本経済を立て直すには、個人の消費を増やすことが必要です。大企業の野放しのリストラをやめさせ、雇用を守り、消費税の大増税計画をやめることを強く要請する。（意見書文要約）

採択

陳情第10号　米兵による女性暴行致傷事件に関する抗議決議

米兵による女性暴行致傷事件は、非人道的で、女性の尊厳を踏みにじり、被害を受けた女性の計り知れない苦しみ、家族の怒りと無念さを察すると、激しい憤りを覚え、断じて許すことは出来ない。（抗議文要約）

一般質問

平成十五年六月定例議会

行財政運営の確立

新垣徳行議員

徳行議員　長期的に開催されていなかった行財政検討委員会を早急に立ち上げ幅広い指導助言を求め、改革をすべきと思うが、次に人事異動は職場の活性化、事務事業の効率性を高める為にも、人事は適材適所の配置が好ましいと思うが村長の所見を伺いたい。

村長　中城村行財政検討委員会は昭和六十二年に設置されて以来、機能することなく、今日に至っている。行政の長として痛切にその責任を感じています。

現在全課長で構成した検討委員会でまとめ上げた行財政改革の実施計画に基づいて、今改革を進めている。

次に人事異動は人事異動実施基準要綱に基づきながら、各自から提出を求め、希望調書を勘案しながら行っています。事業内容によっては各年度間に若干の差が生じます。その余波で各課に人手不足が生じて、賃金対応でその穴埋めをしている状態です。

徳行議員　これまで審議委員会が開催できなかった根拠は何ですか。

村長　検討委員会のメンバーはもう既にお亡くなりになったり、今、病気療養中、高齢になった方々もおられます。機能させるには、メンバーの入れ替えが早急に必要です。

スポーツ振興

徳行議員　スポーツの振興は若者に感動と夢を与え、村民の健康増進を図り、活力ある中城村を築くためにもスポーツ振興は大切な課題と思うが村長の所見を伺いたい。平成十五年度の中城村体協行事が開催されないが、教育長はどう受け止めておられるか？

村長　若い小中学生、青年の活力こそがその社会の未来を担う源泉になることは同感です。中学校の部活動に指導員を派遣して、中城中学校が特に体育振興でめざましい活躍を遂げております。

教育長　体協は独立機関になりますので、教育委員会としては、体協の主体性を尊重しながら、その機能強化に向け支援協力に努めたいと考えています。体協総会がまだ開催されず予算、決算が執り行われず、教育委員会との関わりが持たれてない状態です。

徳行議員　平成十五年度の事業執行が可能と思うか。

教育長　あくまでも相手があることでありますが、私はできると思います。

村長　何が何でも陸上競技大会は実施していくよう支援し、協力して参ります。

市町村合併

宮城治邦議員

宮城治邦議員　市町村合併について、地域説明会を実施されていますが、住民の皆さんから合併の方向性や枠組みについて、どのような意見や質問が出たか。

村長　村民の最大の関心事は北中城村との関わりでございます。今後合併問題を議論していく中で、北中城村との関わりが焦点となっていくものと私自身、実感しております。引き続き、北中城村に強力に働きかけをして行きたいと考えております。

宮城治邦議員　村長は先程来、北中城村という言葉がよく出ておりますが、最近において北中城村の一部の方々が住民発議をするという新聞報道があったかと思います、今日の新聞では沖縄市は北中城村との任意協を見直したいということも出ていたかと思います。その記事を読まれてどう認識されるか、伺います。

村長　タイムスの記者席の記事に「北中城村に熱烈ラブコール。北中城村と合併したい気持ちをずっと持っている」これは私の言葉です。私の心の中には3市町村を進めながら、常に思いは北中城村との合併ということを常に描いている訳で、昨今の動きに対して、今朝の新聞等も含めて非常に好感を持って受け止めております。

LNG発電所誘致建設

宮城治邦議員　LNG火力発電所誘致建設について、平成十四年七月以来地域説明会が持たれてないが、何か理由があるのか。

企画課長　二回の説明会を終えてその後は確かに持たれておりません。特に理由は御座いません。

宮城治邦議員　私が知り得る情報によりますと、発電所からの送電線のルートが賀武道線を埋設して通ると言うことを聞いていますが、本当か。

村長　ルートについては、私もまだ知っておりません。その件については、今の論理ですけれども、どれが先か後かの前後関係を誤ると、結果はどうなりますかというご指摘でありますが、その点、重大な関心を持ってこのルートについては沖電とも交渉、協議を進めていきたいと考えております。まだ決まってないというのが私の認識であります。

宮城治邦議員　LNG発電所運転開始後沖縄電力との環境保全協定書（公害防止）を考えておられるか。

村長　実は以前に議員、私たち役場、私、担当課がそろって中国電力、大分電力を視察しました。仮に、LNGが漏れた場合の防護対策等の説明を受けて参りました。事故というものは全くないとは断言出来ませんので、やっぱり公害防止協定という、どういう覚書になるのか、結んで行きたいと考えております。

公園整備計画と市町村合併

仲眞功浩議員

仲眞議員　第三次総合計画では、世界遺産に登録された中城城跡を核とした中城公園整備事業が大変重要な位置を占めており、観光産業振興等により将来は有望な自主財源になると認識しているが。

村長　歴史文化交流拠点ということで村づくりの一大拠点にするという構想です。観光資源としての経済効果も是非この中城城址を通して発揮させたい。子供たちの教育の問題、歴史文化の発信の拠点ということも含めて、この中城城跡・公園は本村の将来像を活力あるものにするために大きな役割を果たす。

仲眞議員　もし合併するとしたら合併後においても、この中城公園整備計画は中城村側の地域開発の重要ポイントであると考えるか。

村長　私たちの血の流れの中に、この中城城跡の歴史、文化、伝統というのは息づかさなくちゃならないというふうに考えている。合併後もお互い村民の心のふるさとであることには間違いはありません。

仲眞議員　合併後も地域開発の重要拠点になるとなりますと、北中城村との連帯なしではスムーズな開発が出来ないし、自主財源の有望株としての観光資源の開発も計画できない。最近、北中城村も中城村との合併が本命であると考え始めているという話もある。村長は二村の合併任意協議会を立ち上げるために、北中城村の村長との話し合いをはじめて頂きたい。

村長　二村だけでの任意協のスタートについては前向きに努力をしていきたい。そのような、最近の動きがあるとするならば、大いに歓迎し、両村の結びつきを

更に深めて行くべく努力をしていきたい。

仲眞議員　宜野湾市が絡んでくると、どうしても沖縄市の話が上がってくることになり、合併の実現には非常に難しい問題が出てくる。まずは中城村と北中城村の二村合併から検討して頂くことを強く要望する。

電源立地促進対策交付金

仲宗根　哲　議員

仲宗根議員　今年も大変厳しい予算と聞いております。村長はじめ各課の課長さん大変ご苦労さんでございます。電源立地促進対策交付金の初期対策交付金についてです。立地する周辺部落の還元策が優先になると思いますが、村当局としてどのような事業計画がなされているのかお伺い致します。

企画課長　電源立地等初期対策交付金事業は前期と後期の二回に分けて申請ができます。現在は前期にかかる事業計画を申請しております。ＬＮＧ火力発電所の視察及び所在地方自治体の実情調査、県内火力発電所の視察及び所在地域の実情調査、電磁波等に対する専門家による地域説明会の開催を計画しております。後期以降は現在計画づくりの最中です。まず大きく分けまして①公共用施設の整備（道路、都市公園、水道通信、環境衛生、消防施設等があります）。②福祉対策事業（医療、社会福祉、教育文化、スポーツ等各施設の整備）③企業貸付事業（電源地域へ立地する企業に対する低利融資）④理解促進事業（先進地視察、研修会、検討会、地域振興調査、地域活性化イベント等）⑤企業導入産業近代化事業（商工、農水産、観光業等の振興に供する施設の整備、農道、農業用排水路、漁業生産施設の整備等が例示）⑥温排水関連事業（発電所から排出される温排水活用に向けた事業、漁業基礎調査、漁場造成のための調査、魚類の飼育試験、漁礁の調査）等です。地域活性化事業は新たに作られたもので、ソフト面での対応になります。地場産業振興支援事業として地域特産品等の開発及び普及、産業振興に関する事業、生活利便性向上、人材育成事業等です。これまでに比べて使い勝手がよくなるとの説明を受けております。

仲宗根議員　この初期対策交付金が五年間あるという事で、五年間で二億五千万円、この金額が無駄のないように全額を使い切るよう、いろんな事業を計画し運用していただきますよう要望いたします。

行財政改革

新　垣　健　二　議員

新垣議員　現在、庁内検討委員会の中でどのようなことが討議されているか。

村長　行財政実施計画に基づきまして、事務事業の見直し、定員管理及び給与の適正化、時代に即応した組織機構の見直し等に取り組んでいる。

総務課長　まず速やかに実施する事項、それと継続を要する事項に区分し検討を重ねている。それと各課から出された実施計画を検討会の中で審議している所である。

新垣議員　人件費の比率をできるだけ押さえて村づくりの経費を工面していくのが行政改革を進めていく上で重要な点だと思うがどうか。

村長　一三八名の定員に対し現在一三四名の正職員でやっており、それに加えて広域連合、任意合併協への派遣等で非常に人的配置においては苦しい状況であがそれでも人件費を減らしていく努力をしている。

新垣議員　保育所の統合や、民間への委託についての考えはないか。

村長　現在のところ民間への委託というのは考えていません。統合案については今、検討課題の大きな柱として上げてある。

新垣議員　補助金や負担金の整理効率化も検討を要する課題だと思うが。

村長　類似団体は出来るだけ統廃合していく考えは同じであり、中部市町村会で統一歩調を取ればやれるものがないかどうか、それを提言していきたい。

新垣議員　行政改革を進める上で職員の能力を発揮させる為には職場の環境作りも大切だと思います。そこで職員による提案制度というものはないかどうか。

村長　平成十一年に制定された、一課一改善運動があ

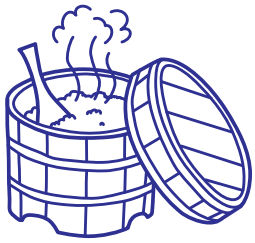
ります。各課から提言を出してもらってこれを集約して行財政改革実施計画をつくって進めているところである。

農道整備

新垣議員　津覇五四三番地の前から北浜に抜ける北浜第一農道の工事が予定されているが、その進捗状況は、また、その箇所は土地改良事で整備されているが、一部だけ地主の反対で二十年間もほったらかしにされています。そこで今度の事業で整備できないか。

建設課長　現在のところ補助金申請中であり県の指令待ちというところである。ご指摘の箇所は今回の事業計画に入ってない。

新垣議員　土地改良の弊害といいますか、こういう問題の箇所はたくさんあります。地域にとっては長年の懸案でありますので早めに善処していただきたい。



昼食時窓口業務

浜　田　京　介　議員

浜田議員　私が三月議会で取り上げて、今回早速実施していただいたことについては一定の評価はするが、残念ながらまだ片手落ちである。どうして住民生活課だけの実施なのか税務課もあれば総務課もあるし、住民のニーズは多岐に渡っていると思われるが、他の課はどうしてできないのか。

村長　まずはスタートしたことに意義を見つけて、今後ステップアップして拡充していきたいと考えております。

すこやか保育サービス事業

浜田議員　本年度から予算が付きました、すこやか保育サービス事業について認可外保育園の利用状況はどうか。

健康福祉課長　本村の七ヶ所の認可外保育園の皆様に制度活用していただいて大変喜ばれております。また、要綱改正をして、ミルク代等についても予算化しているところです。

幼児教育振興プログラム

浜田議員　本村の幼稚園における三年保育及び預かり保育の実施計画はあるのか。

教育総務課長　三年保育につきましては、財政との調整が必要ですので、検討課題にさせていただきます。預かり保育については、来年四月の実施に向けて検討会を立ち上げていこうと思っております。

シックハウス法

浜田議員　新法への本村としての対応策、中学校管理棟建設工事への影響はないか。

教育総務課長　学校関係では、定期検査の徹底、また施工後の検査の確認を受けて引渡すようになっております。

基地被害

浜田議員　わが中城においても常に危険負担を強いられている現状は、基地所在市町村となんら変わりありません。今後も国や県に対して要請行動を行うべきではないか。

村長　積極的に被害に相応するものを求めていこうと考えております。

行財政改革

新　垣　善　功　議員

善功議員　三月定例会後の行財政改革の進捗状況について伺いたい。また外部行財政改革検討委員会の設置についても伺います。

村長　行革の一貫として資源ゴミ回収業務の民間委託を行い、年間三百万円超の経費節減にもつながった。また定員管理については、スクラップアンドビルドや賃金や職員の抑制によって人件費の削減も意図としてやった。行財政改革検討委員会については、昭和六十二年から今日まで休眠状態

で続いていたことに対し、深く反省し新たなメンバーを揃えて再開していただきたい。

善功議員　検討委員会のメンバー選定については、会社の経営者や、経理等にたけた人達を起用する考えはないか。

村長　外部委員の意見もしっかり聴取するという意思に添って人選を進めてまいりたい。

市町村合併

善功議員　市町村合併について、これまで宜野湾、西原、中城、三市町村合併についての住民説明会を終えて村長の感想を伺いたい。

村長　住民の声として北中城村と関わる質疑が多くて私自身常々両村の合併には必然性があるという持論を持っていますだけに、北中城村への働きかけを、今後より一層強めていきたい。

善功議員　今、庁内の合併検討会ではどういう内容が話し合われているか。

企画課長　各課からの今後十年間を見越しての行政需要を上げていただいており議会が終わりしだい集約に取り組んでいきたい。

添石野菜温室

善功議員　添石野菜温室組合について。入札業者や、その後の指導状況について伺いたい。

経済課長兼農業委員会事務局長　三社が見積もり依頼され、その中で沖阪産業株式会社と契約が締結されている。また指導体制については、今後本人と協議しながら進めていきたい。

善功議員　組合が負担すべき二十パーセントですが調査の結果はどうなっているか。

課長　負担事業分としての入金ということはされております。

サンヒルズ浄化槽

善功議員　サンヒルズタウンの浄化槽について。

村長　自治会が機能し始めたら連携を強化して今の浄化槽問題にも対処していきたい。

善功議員　早めに自治会組織の立ち上げをさせて、そういう問題を一つ一つ解決していき、そして最終的には村長の政治的判断でもって解決をしていただきたいと強く要望致します。

睦学園

上原正恒　議員

上原議員　障害者施設共同作業所の睦学園の入所状況、作業内容と今後の取り組みについてお伺いします。

村長　村長というより社会福祉協議の会長また同作業所の所長という立場からお答え致します。現在男三名、女一名の計四名が入所しており、作業内容は同作業所の目的である心身障害者に働く場を提供し働く喜びと生きがいを助長し、心身障害者の社会参加と社会性を養うとともに自立更生を図るのが、同作業所の目的であります。その目的に沿って子供たちには手芸、花卉園芸、軽い作業、各種の村行事や祭りへの参加などを行っております。今後の取り組みについては、社会参加と身辺自立を促すような活動や作業内容の幅を広げていきたいと考えております。ここ数年、作業所の事業もマンネリ化をしていることもあり織物とかアルミ缶つぶし作業も社会ニーズに沿うものかどうか検討の余地があり、今は当施設を利用した食品づくりに転換してはと、考えている矢先であります。しかしながら食品衛生上の問題、園生の人数等いろいろな問題も半面抱えております。睦学園も古くなっております。他の場所へ移転し作業所も一体となった園をとの思いもあります。

産業廃棄物の不法投棄

上原議員　先日宜野湾署とタイアップし、合同パトロールを行った結果、大量の粗大ゴミが捨てられている泊、久場地域をどのようにして処理をするか伺いたい。

住民生活課長　村では不法投棄に関しましては各自治会長及び郵便局とのタイアップにより情報提供依頼を行い、村一円不法投棄の発見に努めています。また不法投棄の処理については、今後村全体の問題であります。今後宜野湾署とタイアップし、現場調査をしながらその後に処理をしていきたいと思います。

上原議員　クリーンゾーンである我々中城城跡の下のゴミはそのまま放っておくと大変なことになりますので、早めに撤去を要請します。

平和行政

安里　ヨシ子　議員

ヨシ子議員　大多数の国民の反対をおしきって有事法制が強行採決された。この法案は国民を守るための備えではなく自衛隊が米軍と供に攻めるための備えで地方自治体と国民に戦争協力を強制するもので廃案にすべきと思いますが。

村長　国論を二分する賛否両論ある中で有事法制は必要であると考える。

ヨシ子議員　村長は、教育者として教え子を再び戦場へ送らないその固い決意のもと平和教育の発展に尽くしてこられたと認識して

います。今度は自治体の長として職員は勿論、住民の生命、財産を守る責務があると考えますが。

村長　住民の生命、財産を守る事が最大の行政、政治の課題と思う。

市町村合併

ヨシ子議員　合併のメリット、デメリットを村民に知らせ議論を尽くように、合併の是非は住民投票で。

村長　合併問題は子々孫々に至る世紀の大問題、可能な限りその方向で進めていけるよう努めてまいります。

登下校時の子供達の安全を守る

ヨシ子議員　中城小学校の通りは、登下校時送迎の車で混雑する、車がUターンする時や駐車中の車の前後から子供がとびだして大変危険な状況であり、早急に対策を講じてほしい。

教育長　登校時、おまわりさんや父母を動員して交通安全指導にとりくんでいる、下校時はその指導がされてない。五月十九日三時頃一年生が事故っており、幸い軽いけがで済みましたが下校時も大きな問題をかかえている事を痛切に感じている。財政との関わりやいろんな問題が予想される、教育委員会だけでの対応だけでは厳しい、関係者を綱羅して対処する以外ない。次の会議で検討していきたい。

平成15年９月定例会　議案一覧表

議案番号	議　　案　　名	
議案第41号	平成15年度中城村一般会計補正予算（第２号）	可　決
議案第42号	平成15年度中城村国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	〃
議案第43号	平成15年度中城村土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	〃
議案第44号	平成15年度中城村公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	〃
議案第45号	南上原地区築造工事（14－４工区）改定契約	〃
議案第46号	奥間地内公共下水道工事（15－２工区）請負契約	〃
議案第47号	奥間地内公共下水道工事（15－３工区）請負契約	〃
議案第48号	津覇地内公共下水道工事（15－５工区）請負契約	〃
議案第49号	津覇地区団体営かんがい排水工事請負契約	〃
議案第50号	中城中学校管理棟新増改築工事（建築）の請負契約	〃
議案第51号	中城村道路線の認定	賛成多数
議案第52号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可　決
議案第53号	中城村乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例	〃
認定第１号	平成14年度中城村一般会計歳入歳出決算認定	認　定
認定第２号	平成14年度中城村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	〃
認定第３号	平成14年度中城村老人保健特別会計歳入歳出決算認定	〃
認定第４号	平成14年度中城村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	〃
認定第５号	平成14年度中城村土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	〃

認定第６号	平成14年度中城村介護保険特別会計歳入歳出決算認定	〃
認定第７号	平成14年度中城村水道事業会計決算認定	〃
報告第４号	沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告	
報告第５号	議会の議決を経た工事請負契約の変更契約（報告）	
陳情第11号	地方自治の充実・強化を求める意見書	採　択
陳情第12号	地元産品の優先使用等	〃
陳情第13号	県産品の優先使用	〃
陳情第14号	ハンセン病療養所沖縄愛楽園の医療内容の充実と退所者の生活支援に対する請願	〃
陳情第15号	日米地位協定抜本改正を求める意見書	〃
陳情第16号	母子及び父子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することについて要請	〃
陳情第17号	寡婦の医療費助成制度化についての要請	〃

平成15年度一般会計補正予算（第2号）

可決

既定予算額	48億 6,700万 7千円
補正額	1億 4,777万 5千円
予算総額	50億 1,478万 2千円

平成15年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

可決

既定予算額	14億 7,693万 2千円
補正額	7,385万 6千円
予算総額	15億 5,078万 8千円

平成15年度公共下水道特別会計補正予算（第1号）

可決

既定予算額	4億 7,387万 6千円
補正額	62万 8千円
予算総額	4億 7,450万 4千円

平成15年度土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）

可決

既定予算額	12億 2,706万 8千円
補正額	43万 1千円
予算総額	12億 2,749万 9千円

平成14年度一般会計歳入歳出

決算

歳入総額	48億 4,965万 1,134円
歳出総額	46億 2,255万 1,393円
差引残額	2億 2,709万 9,741円

認定

・歳入総額は対前年で４億7,478万円の減で学校の騒音防止対策事業等の一部完了に伴う国庫支出金の減によるものが主である。尚、歳出予算の執行率は、94.4%で前年度より2.1%の増である。
・地方交付税は、前年比で１億 9,002万9千円の減となっている。
・自主財源（村税）は、約10億353万円で、率にして21.4%である。
・主な財政力指数は、

実質収支比率	公債比率	経常収支比率	財政力指数
5.6%	11.1%	88.7%	0.353%

※指摘事項
財政は年々厳しい状況にあり、早急に財政の健全化に努めなければならない。高金利の償還金の繰上償還、電算機器等の集中管理による事務の効率化及び報奨費、補助金等の見直しが必要である。

平成14年度国民健康保険特別会計歳入歳出

認定　決算

歳入総額	14億 4,328万 3,774円
歳出総額	13億 6,427万 3,301円
差引残額	7,901万 473円

※指摘事項
保健課の職員体制を強化し、保健事業の拡充を図り、住民の健康増進と徴収率向上等を重要課題として努力すること。

平成14年度老人保険特別会計歳入歳出

認定　決算

歳入総額	11億 459万 5,479円
歳出総額	11億 2,927万 3,084円
差引残額	－ 2,467万 7,605円

※指摘事項
老人医療費は年々増加傾向にあり、予断を許さない状況である。保健事業の拡充を図り、老人の健康管理に努力すること。

平成14年度介護保険特別会計歳入歳出

認定　決算

歳入総額	9億5,586万9,131円
歳出総額	9億4,075万8,003円
差引残額	1,511万1,128円

※指摘事項
介護保険事業においても保険給付費は年々増加傾向にあり、予防事業の拡充を図り、老人の健康管理に努力すること。

平成14年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出

認定　決算

歳入総額	15億6,727万896円
歳出総額	12億3,573万3,630円
差引残額	3億3,153万6,966円

※指摘事項
事業進捗状況はまだ全体の38%であり、物件補償、工事の遅れ等が多々あり、誠意を持って早急に取り組むすべきである。又保　留地処分については、あらゆる手段を行使し、早急に売却し事業を進めなけれ　ばならない。

平成14年度水道事業会計歳入歳出

認定　決算

歳入総額	3億7,731万5,518円
歳出総額	3億5,473万8,481円
差引残額	2,257万7,037円

※指摘事項
漏水調査、機器の点検を徹底すること。未収金の回収を徹底すること。

平成14年度公共下水道特別会計歳入歳出

認定　決算

歳入総額	5億3,360万4,638円
歳出総額	5億2,251万9,258円
差引残額	1,108万5,380円

※指摘事項
使用可能用地域における接続件数がきわめて低調である。接続費貸付制度及び環境衛生の啓蒙を図り、加入者を増やす努力が求められる。特に、地域の公職者への接続促進を積極的に働きかけることが重要である。

一般質問

平成十五年九月定例議会

市町村合併

浜田京介議員

浜田議員　西原町の住民投票の結果を踏まえて、宜野湾、西原、中城の合併協議会は今後どうなっていくのか、法定協議会への移行は可能なのか、伺います。

村長　西原町の投票率が五十％に達しなかったことは、三枠組みは否定されたものとみなすという、西原町の結論を私も受け止めざるを得ないし、それが順当だと思います。宜野湾市長も合併特例法の期限内の合併は難しくなったとの見解を示しているし、三市町村での法定協への移行はかなり厳しくなったと考えております。

浜田議員　先日集計したアンケート結果では村民の五十％以上の人が広域合併を望んでいるという結果がでましたが、私はそれが民意だと解釈しているが、村長はどうか。

村長　アンケート結果については、三枠組みか、四枠組みでの合併賛成票が抜きんでて多かったと考えております。今後も分析をしながら枠組みを模索していこうと思っています。

浜田議員　住民の半分以上の方々が広域合併を望んでいるのだから、村長はその実現に向けて努力すべきだと思うが、行政の長として村長はどういう考えか。

村長　合併をしていくという姿勢を堅持していく立場から、今の浜田議員のご提言に沿って努力していきたいと考えております。

次世代育成支援対策推進法

浜田議員　本年七月に成立した次世代育成支援対策推進法を受けて、今後の本村の取り組み、行動計画について伺います。

健康福祉課長　本村においても次世代行動計画策定に向けて補正予算を計上しているところです。今年度は少子化対策に係るニーズ調査を実施していきたいと思っております。

浜田議員　私も議員になって一年、この保育教育、子供の問題についてはかなりやってきたつもりですので、課長、これからもまた一緒に頑張っていきましょう。

市町村合併

宮城治邦議員

宮城治邦議員　任意協の枠組みの一つである西原町の住民投票が不成立に終わり、合併の方向性や枠組みについて、どのように考えておられるのか。

村長　西原町の住民投票が不成立となり、3市町村の任意協の解散が確定的となった今、本村は合併の枠組みの新たな構築を迫られております。北中城村との合併も立場を尊重しながら、重要な選択肢であり大いに努力をする余地があるというふうに考えております。

宮城治邦議員　中城村、北中城村の二村合併を推進する両村の議員がそれぞれの村長に対し、二村合併協議会の設置について要請されていると思いますが、その件について、村長はどのように受けとめておられるか。

村長　平成十七年三月三十一日を期限とする合併特例法に可能であれば間に合わせたい。北中城村の有志の方々が村長室にお見えになった時にも、財政問題も重要ですけれども、私達のこれまで戦争によって残された負の遺産というものをこの際、元の中城村に復することができれば、願ってもないチャンスだということで、民意を大事にして、今後、接点を持ちまして、真剣に検討して参りたいと考えています。

宮城治邦議員　本村は、税金徴収率に応じて、自治会単位で奨励金、個人一括全納税者に対して、報奨金制度を採用されていますが、関係市町村はそのような制度があるかどうか。

企画課長　報奨金制度について、関係市町村の資料は今持ち合わせなくてお答えできませんが、それも含めて法定協の中で話し合われていくことになります。

LNG発電所誘致建設

宮城治邦議員　電源立地に関して、地域住民への合意形成が不十分で電磁波の問題や住宅までの距離の問題等、不安定要素が多々あるかと思いますが、そういう地域の不安解消に具体的にどう取組んでおられるのか。

村長　最も重要なことだと日頃から考えておりまして、これまでも地域住民説明会、それから県内外の先進地視察、電磁波の不安解消に資するために、弘前大の先生を招いて説明会も行って参りました。決して十分な話合いを持っていると言う事ではありませんけれども、この問題は重要な問題であるだけに、これからも地元の皆さんと数多く接しまして、いろいろな角度から検討して、合意形成に向けて努力をして参りたいと考えております。

宮城治邦議員　初期対策交付金の下期申請分が四千万円余りあると思いますが、どういう事業が計画されているのか。

企画課主幹　中城祭りに千三百万円、泊伊那具原河川改良工事に二千七百万円を予定しております。

宮城治邦議員　産業高度化地域制度について、本村は地域指定がされいるかどうか、条例制定をする考えがあるかどうか。

企画課長　指定はされておりません。そこにLNG発電所が立地する、その完成に間に合わせて、出来ればもっと早い時期に県の方と調整をして行きたいと考えております。

村内企業育成

仲宗根　哲　議員

仲宗根議員　村発注の工事は指名入札参加制度を導入されていると思いますが、参加資格があれば税の還元を考える時、地元を優先すべきだと思うが、村内外業者の指名比率はどうか、本村独自の業者指名マニュアルがあるかどうか。

村長　以前からその問題についてはは議員さん所見からよく質問がなされました。私ども村行政を預かるものとして、村内業者の育成と言うのは大事な役目の一つだろうというふうに考えて優先指名をしております。発注工事の内容によって指名比率にバラツキがありますが、平均的には七対三ぐらいの比率で村内を優先指名しているつもりであります。マニュアルの件でございますが、平成九年五月二十九日付けで中城村工事入札参加資格審査及び業者選定に関する規定というものを作りまして、それを交付しておりまして、即執行しておりますことをお答え申し上げます。

仲宗根議員　発注工事金額によって、指名業者ランクがあると思いますが、どのような方法でランク付けされているのかお答え願います。

助役　村独自のマニュアルにつきましては、中城村の例規集二巻一五〇一頁の訓令規定でしっかり示してございます。コンサルについては二ランク、それから土木・建築については四ランクにしてございますが、地域の地元の皆様につきましては、明確に分けてございません。地元企業の育成について申し上げておきますと、村内の商工業者の技術的な適正、従業員の数、それから経営規模等の実態を十分に把握した上での質問であれば、御理解頂けると思いますが、四半期毎に議会に報告致しております。主要施策の執行状況をご覧になればいかに村内の商工業者の育成に努めているかご理解できると思います。

仲宗根議員　最後に、村内業者を育成する為にも、せめて八対二ぐらいに持っていって公平、平等に指名入札に参加させていただきますよう強く要望致しまして、質問を終わります。

市町村合併

宮城治邦　議員

宮城治邦議員　任意協の枠組みの一つである西原町の住民投票が不成立に終わり、合併の方向性や枠組みについて、どのように考えておられるのか。

村長　西原町の住民投票が不成立となり、3市町村の任意協の解散が確定的となった今、本村は合併の枠組みの新たな構築を迫られております。北中城村との合併も立場を尊重しながら、重要な選択肢であり大いに努力をする余地があるというふうに考えております。

宮城治邦議員　中城村、北中城村の二村合併を推進する両村の議員がそれぞれの村長に対し、二村合併協議会の設置について要請されていると思いますが、その件について、村長はどのように受けとめておられるか。

村長　平成十七年三月三十一日を期限とする合併特例法に可能であれば間に合わせたい。北中城村の有志の方々が村長室にお見えになった時にも、財政問題も重要ですけれども、私達のこれまで戦争によって残された負の遺産というものをこの際、元の中城村に復することができれば、願ってもないチャンスだということで、民意を大事にして、今後、接点を持ちまして、真剣に検討して参りたいと考えています。

宮城治邦議員　本村は、税金徴収率に応じて、自治会単位で奨励金、個人一括全納税者に対して、報奨金制度を採用されていますが、関係市町村はそのような制度があるかどうか。

企画課長　報奨金制度について、関係市町村の資料は今持ち合わせなくてお答えできませんが、それも含めて法定協の中で話し合われていくことになります。

LNG発電所誘致建設

宮城治邦議員　電源立地に関して、地域住民への合意形成が不十分で電磁波の問題や住宅までの距離の問題等、不安定要素が多々あるかと思います、そういう地

域の不安解消に具体的にどう取組んでおられるのか。

村長　最も重要なことだと日頃から考えておりまして、これまでも地域住民説明会、それから県内外の先進地視察、電磁波の不安解消に資するために、弘前大の先生を招いて説明会も行って参りました。決して十分な話合いを持っていると言う事ではありませんけれども、この問題は重要な問題であるだけに、これからも地元の皆さんと数多く接しまして、いろいろな角度から検討して、合意形成に向けて努力をして参りたいと考えております。

宮城治邦議員　初期対策交付金の下期申請分が四千万円余りあると思いますが、どういう事業が計画されているのか。

企画課主幹　中城祭りに千三百万円、泊伊那具原河川改良工事に二千七百万円を予定しております。

宮城治邦議員　産業高度化地域制度について、本村は地域指定がされているかどうか、条例制定をする考えがあるかどうか。

企画課長　指定はされておりません。そこにＬＮＧ発電所が立地する、その完成に間に合わせて、出来ればもっと早い時期に県の方と調整をして行きたいと考えております。

村内企業育成

仲宗根　　哲　議員

仲宗根議員　村発注の工事は指名入札参加制度を導入されていると思いますが、参加資格があれば税の還元を考える時、地元を優先すべきだと思うが、村内外業者の指名比率はどうか、本村独自の業者指名マニュアルがあるかどうか。

村長　以前からその問題についてはよく質問がなされました。私ども村行政を預かるものとして、村内業者の育成と言うのは大事な役目の一つだろうというふうに考えて優先指名をしております。発注工事の内容によって指名比率にバラツキがありますが、平均的には七対三ぐらいの比率で村内を優先指名しているつもりであります。マニュアルの件でございますが、平成九年五月二十九日付けで中城村工事入札参加資格審査及び業者選定に関する規定というものを作りまして、それを交付しておりまして、即執行しておりますことをお答え申し上げます。

仲宗根議員　発注工事金額によって、指名業者ランクがあると思いますが、どのような方法でランク付けされているのかお答え願います。

助役　村独自のマニュアルにつきましては、中城村の例規集二巻一五〇一頁の訓令規定でしっかり示してございます。コンサルについては二ランク、それから土木・建築については四ランクにしてございますが、地域の地元の皆様につきましては、明確に分けてございません。地元企業の育成について申し上げておきますと、村内の商工業者の技術的な適正、従業員の数、それから経営規模等の実態を十分に把握した上での質問であれば、御理解頂けると思いますが、四半期毎に議会に報告致しております。主要施策の執行状況をご覧になればいかに村内の商工業者の育成に努めているかご理解できると思います。

仲宗根議員　最後に、村内業者を育成する為にも、せめて八対二ぐらいに持っていって公平、平等に指名入札に参加させていただきますよう強く要望致しまして、質問を終わります。

保育行政

仲　眞　功　浩　議員

仲眞議員　認可外保育園に対して、ミルク代、健康診断料、調理員検便料といった補助がありますが、村立保育園に比べて差額があまりにも大きすぎる。月平均で村立保育園の五～十六万円に比べ、わずか二千円程度です。年額にすると、六十万～百九十万円と大変大きな差額になる。同じ村民の子どもでありながらこれだけの差がある。是非是正して頂きたい。

健康福祉課長　少しずつでも行政が出来る分については補助をしていきたい。相談しながら県のプラン以上に増額していきたいと考えている。

市町村合併

仲眞議員　今後の交付税の減額、厳しい財政状況から市町村合併は避けて通れないと考えているのか。

村長　合併の必要性ということについては固い決意をもって必要性を感じている。

仲眞議員　村長は期限までに合併の目処を付け、合併特例債を利用して住民のサービスニーズや、インフラ整備等に対応していきたいと考えているのか、それとも合併期限には拘らず、じっくり時間をかけて合併問題に取り組んでいくのか。

村長　財政支援のある機会をとらえて合併の時間を早めたい。平成十七年三月三十一日という合併特例法の期限は、以前よりも現時点になって強く意識するようになっている。

仲眞議員　期限内に合併し、合併特例債を利用したい考えであるとすれば、この時点で西原町、宜野湾市が本村との合併対象候補から外れていく。西原町は三市町

村の合併推進を離脱すると宣言したし、宜野湾市は法定期限に間に合わず、単独路線をも模索すると報じられている。残るのは、やはり北中城村と中城村二村の合併だということを強く意識していただきたい。

村長　両村が一つになるということは歴史的必然性があるというふうに答えて参りました。いまもその認識は全く変わっておりません。北中城村との合併問題については緊急な重要課題として取り組んで参ります。

地元業者の育成と選定委員会

比　嘉　定　榮　議員

比嘉議員　今後は地方分権が進み、自己決定、自己責任の時代になってくると言われておりますが、その為には自治体独自の自己財源の確保が大変重要になってきます。そのためには地元発注事業者の税的な還元を増やさなければなりません。村の地元業者育成計画、選定委員会について伺います。

村長　行政の立場としましては、地元商工業の振興発展ということについては、私達の行政を進めるものの立場としては重要な役割であると考えておりますし、支援し、育成すること、そして地元企業を優先して指名することによってその育成を図っていくということはこれまでもやってきました、今後もその姿勢を堅持してまいりたいと考えております。

助役　現在登録されている業者の数は、建設業一〇二九社、コンサル四五四社です。

総務課長　選定委員会は総務、企画、建設、経済、都市計画、水道それぞれの課長以上六名と、委員長は助役です。

北中城村との対等合併

比嘉議員　北中城村、中城村の対等合併については、三月定例議会で一度質問しておりますが、現在情勢が変わってきております。両村の対等合併を求める村民の強い声がありますが、民意を尊重する村長の立場としてどのように対処していきますか。

村長　現在までの経緯を踏まえて三市町村の任意協については、三市町村長でしっかり総括をしていきたい。総括なしに次の行動に即、足を踏み出すということは二市町に対して申し訳なく思います。九月一杯に三市町村で構成する任意協についての総括は決定しております。本村の次なる対応を急がなければならないと考えております。北中城との合併問題は、当面する最重要課題として浮上してきたような認識を強くもっております。

比嘉議員　合併特例債の期限内平成十七年三月三十一日までに北中城村との対等合併は間に合いますか。

村長　北中城村と中城村の合併を考えた時に、これまで進めてきた三市町村の任意協の総括をしない前に次の行動に移ることは、私は不謹慎だというふうな考えをします。九月一杯に総括されますので、次なる行動を急いでいくという事を申し上げた次第であります。

比嘉議員　両村の対等合併が合併特例法に間に合うよう早めに合併協議会立ちあげを希望し質問を終わります。

北中城村議との意見交換会

市町村合併

安　里　ヨシ子　議員

ヨシ子議員　行政の効率化、財政面だけが強調され住民が知りたい情報、住民生活に関わる情報提供がなされなかったのではないか。

村長　住民生活に直結した知りたい情報が提供されたかについて課題もあり反省もある。多くの検討すべき事、すり合わせ等項目が多岐にわたっている。今までのを参考により正確な情報を提供していきたい。

ヨシ子議員　平成十七年の公債比率、合併十五年後の比率がどうなるか。

企画課長　公債費が歳出合計に占める割合で、平成十七年八・五七パーセント、

平成三一年度は十五・五七パーセントという数値になります。

障害者支援費制度

ヨシ子議員　今まで措置制度のもとで障害者の福祉サービスは、国、県、自治体が直接責任を負っていたが制度が変わり障害者が自己決定、自己選択、自ら制約する事で、国や行政が消極的になりはしないか懸念している現在の進捗状況は。

健康福祉課長　専門の保健士を一人を配置、スムーズに認定業務を行っている。

ヨシ子議員　障害の程度というのは、多種多様で専門性が求められる、個々の障害の特殊性に着目した微妙な審査であり制度が普及するにつれ申請人も多く苦情処理、相談、訪問、調査、幹施等、保健士一人で大丈夫か。

健康福祉課長　専門的に相談出来る職員というのが気になる。今後二人体制も考えられる。

ヨシ子議員　申請困難な障害者への対応は。

健康福祉課長　家庭訪問して手続きをしている。サービス提供者と連絡をとりコミュニケーションをとりながら最高なサービスが受けられるよう業務を行っている。

ヨシ子議員　今後障害者をどのように支援していくか。

村長　行政の行き着く所は福祉サービスの充実と考えている、安心して生活の出来る障害者福祉という事で今後充分心して対応していきたい。

学校施設整備

知念政光議員

知念議員　今年、四月中旬から八月の初旬まで保健課による水中運動教室が開かれました。私も参加してみて、特に高齢者の健康増進、健康維持のためには非常に効果があると私は考えております。しかし開始時間が早くて参加できないとの声もあり、もう少し時間を遅くして六時か七時頃にすれば参加者も増えると思います。そこで中城、津覇両小学校のプールに夜間照明設備が必要であると思慮されますが。

教育長　村民の体力や、健康を図るためにはなくてはならない設備であり、次年度に向けて知念議員がおっしゃているとおり整備していきたい。

知念議員　水中ウォーキング教室を開いての効果について報告をお願いします。

保健課長　医療費の抑制も含めて将来においては大きな効果をもたらすだろうという報告を受けている。

知念議員　照明設備については、是非やって頂きたいと思いますが。

村長　高齢者の健康維持、医療費制度、リハビリ効果といったような趣旨目的をしっかりして実施するならばその方向で実施したい。

青葉苑

知念議員　青葉苑問題について、現在の稼働状況、訴訟及び費用、そして工事遅延賠償金については。

村長　計画運転日数は月に二十日に対し実質運転日数十六日、七月の稼働率は八十パーセントである。また約一年半に及ぶ訴訟係争での裁判費用は、着手金九百万円、報酬が一千百万円、支払っております。それから工事遅延賠償については既に解決済みである。

知念議員　試運転中にダイオキシンの測定はされたか、また、その測定結果は。

村長　測定時間は四月二十六日の二十四時までの四時間、一号炉で〇・〇〇七ナノグラム、二号炉で〇・〇〇一一ナノグラムという測定結果が出ている。

市町村合併

知念議員　合併問題について、私は広域合併を支持しており法定協議会を早急に設立しなければと思うが。

村長　三市町村の任意協の解散が殆ど決定的となった現在、総括はしっかりさせた上で本村の合併問題は対応していきたい。

知念議員　村長の方で強力にイニシアティブをとって当初の任意協をそのまま法定協に立ち上げていただきたいが。

村長　相手があることであり、ひるがえすことは難しいと思うが、私も合併それを進めていく姿勢には変わりはなく、今後の中城村の再構築に向かってタイムリミットという形で頑張っていきたい。

契　約　議　案

可決

議案45号南上原地区築造工事改定契約

当初請負金額7,560万円　変更請負金額8,883万円
契約相手方　北上工業
（設計変更による増額である）

可決

議案46号奥間地内公共下水道工事（15−2工区）請負契約

請負金額5,250万円
契約の相手方（株）新栄組

可決

議案47号奥間地内公共下水道工事（15−3工区）請負契約

請負金額6,111万円
契約相手方（有）松山土木

可決

議案48号津覇地内公共下水道工事（15−5工区）請負契約

請負金額5,040万円
契約相手方（株）沖伸建設

可決

議案49号津覇地区団体営かんがい排水工事請負契約

請負金額7,381万5千円
契約相手方（有）喜藤組

可決

議案50号中城中学校管理棟新増改築工事請負契約

請負金額2億1,525万円
契約相手方　（株）新栄組　　（株）興建　　共同体

採択

陳情第11号地方自治の充実・強化を求める意見書

地方制度調査会が示した「中間報告」においては、人口要件の明示や、県による合併構想の策定、合併や地域自治組織への移行に関する知事の勧告、あっせん、段階補正の更なる見直し等が盛り込まれている。この方法は、国と地方の上下、主従の関係においた従来の機間委任事務時代の発想であり、地方の団体自治、住民自治を著しく制限するものであり容認できない。（意見書文要約）

採択

陳情第12号地元産品の優先使用等について（要請）

中城村商工会より、地元産品の優先使用等についての陳情がありました。
中城村議会は、地元産品を優先使用することは、地元企業の育成と雇用の創出に大きな効果があること、又、地元経済を活性化させるためにも当然の事であるとの認識から、全会一致で要請を採択した。

採択

陳情第15号日米地位協定の抜本的改正を求める意見書

米軍基地に起因するさまざまな事件・事故は、特に女性や少女に対する暴力となって現れており、沖縄県民はそのたびに事件・事故の撲滅と日米地位協定の抜本的改正、米軍基地の整理・縮小を日米両政府に求めてきた。もはや日米地位協定の運用・改善だけでは、米軍基地をめぐる諸問題の解決は望めない。よって、中城村議会は、日米地位協定の全条を見直し、抜本的に改正することを強く要望する。（意見書文要約）

町村議会議員・事務局職員研習会

平成十五年十一月四日豊見城中央公民館で町村議会議員、事務職員の研習会が開催され、前泊博盛氏による「沖縄県政の主要課題へ復帰三十一周年の現状と展望」、成田寛彦氏による「総選挙と日本政治の行方」についての講演が行われました。

合併特別委員会設置

平成十五年三月三十一日に「中城村議会合併特別委員会」を設置し、今日迄に北中城村議員との意見交換会や、県職員を招いて研習会や独自の勉強会等を開催しています。

南米移住95周年記念式典に参加

南米（アルゼンチン・ブラジル）移住95周年記念式典が8月13日～24日間の日程で開催され、南米の県人会、村人会の皆さんと親しく交流し、懐かしい昔の話や、現在の状況等

元中城村議会議員 五氏表彰

平成十五年十一月三日吉の浦会館で中城村功労者・善行者表彰式が行われ、元議員呉屋哲夫氏、仲松彌盛氏、伊佐吉元氏、桃原廣一氏、比嘉善榮氏が表彰されました。

編集後記

村民のみなさん朝、夕、めっきり涼しくなりました。いかがお過ごしでしょうか。「議会だより」八号をお届けいたします。

今号の主な内容は一点目に市・町・村合併問題で、この件に関しては議会内でも意見が分かれています。宜野湾市、西原町、北中城村、中城村の広域合併か、北中城村、中城村だけの二村合併かで激しい議論が交わされています。まもなく結論が出ると思われます。

次に中城村公共下水道の問題、村では毎年度、約四～五億円の事業費が下水道事業の為に執行されています。

しかし、十四年度現在加入対象地域のわずか三％しか接続していないのが現況です。

対象地域のみなさん、進んで公共下水道を利用しましょう。

以上が今回の「議会だより」の主な内容です。